



取扱説明書 - 手動式圧着工具 CIPZ D



適 用

手動式圧着工具の使い方を下記に記載します。

品 名 圧着工具
品 番 CIPZ D

品 名 タレットヘッド (ロケータ)
品 番 CITP D



対応圧着コンタクト仕様

| コンタクト タイプ | 品番 | | | | 適合電線サイズ 1) | | | 被覆剥き 長さ mm | 導体挿入穴 内径 mm | CIPZ D 圧着深度セ レクターダ イアルNo. | イメー ジ |
|--------------|----------|----------|----------|----------|------------|-----------------|----------|------------------|-------------------|------------------------------------|----------|
| | 金メッキ | | 銀メッキ | | AWG | mm ² | SQ | | | | |
| CI (4A) | CIFD 0.2 | CIMD 0.2 | CIFA 0.2 | CIMA 0.2 | 28-24 | 0.08-0.21 | 0.08-0.2 | 4 | 0.64 | 7 | |
| | CIFD 0.3 | CIMD 0.3 | CIFA 0.3 | CIMA 0.3 | 26-22 | 0.13-0.33 | 0.2-0.3 | 4 | 0.9 | | |
| | CIFD 0.5 | CIMD 0.5 | CIFA 0.5 | CIMA 0.5 | 22-20 | 0.33-0.52 | 0.3-0.5 | 4 | 1.12 | | |

1) AWG =米国, mm²= 欧州, SQ=日本, 各国一般的電線サイズの対応表となります。

工具のセッティング

1. タレットヘッド CITP D(ロケータ)の取り付け



工具側の穴の形に合わせてタレットヘッドを挿入します。



挿入したタレットヘッドを押しながら90度回転させます。



指を話すとタレットヘッドが固定されます。(完了)

2. 圧着深度の設定



圧着深度セレクタダイヤルの保持フックを外します。



圧着深度セレクタダイヤルを指で持ち上げながらNo7が矢印の位置に



保持フックを戻してセレクタダイヤルを固定します。(完了)



圧着結線手順



工具のハンドルをラチェットが開放せれるまで締め付けてハンドルを開きます。



圧着するコンタクト（端子）をかしめ口部に挿入したらハンドルを軽く閉じて端子を固定します。



規定の長さ（4mm）に被覆を剥いた電線をコンタクトに挿入しハンドルを締め付けます。



圧着が完了すると自動的にラチェットが開放せられハンドルが開きますので、電線を持ってコンタクトを真直ぐ引き出します。

圧着後の確認事項



- ① 点検穴から導体が見えること
- ② 圧着位置が正しいこと8点の窪みがあること
- ③ コンタクト外から導体(ヒゲ)がはみ出していないこと

工具校正

工具の圧着深度が適正かどうかを確認するためには、対応するgo/no go検査ゲージ（CCPNP）を使用します。



- ① 工具の圧着深度セクターダイヤルをNo.8にセットします。
- ② 工具のハンドルを締め付けてかしめ口部が完全に閉じた状態にします。



- ③ かしめ口部に go/no goゲージ(型番:CCPNP)を真直ぐ挿入して確認します。

ゲージgo側(緑)は圧着口部を通過しなければなりません
ゲージno go側(赤)は圧着口部を通過してはいけません

go/no go ゲージ検査が不合格の場合はメンテナンスが必要ですので弊社までご連絡下さい。